

荷さばき所の事業費減額(規模縮小)

(1) 計画条件

- 岸壁法線平行方向のパレットとパレットの間は1.50mとし人の通路とする。
- 荷さばき所の岸壁側から搬出側方向にパレットが連続すると、全く人の移動ができなくなってしまうので、荷さばき所の中央に幅1.5mの通路を設ける。
- 迅速な搬出入ができるように、陳列場所の海側と陸側、陳列するパレット2列の間にフォークリフトの通路(交互通行できるように幅4.0mを確保)を設ける。

- 1日の陸送品の取扱量 14,474.1kg
- 発泡スチロール1箱に入る水産物の量は、3kgとすると、
1日に陳列する発泡スチロールの箱数=14,474.1kg/日÷3kg/箱=4,824.7÷4,825箱/日
- このような陳列をして、荷さばき所での取扱量が多い盛漁期には陳列は2回転する。

1列の発泡スチロール箱の数は、

発泡スチロール箱数=6箱/パレット×14パレット/列×2回転=168箱/列

陳列されている発泡スチロール箱の様子をみると、全体の10%程度が5段、全体の5%程度が10段とすると、
発泡スチロール箱数=168箱/列×(0.85×1段+0.10×5段+0.05×10段)

$$=168箱/列 \times 1.85 = 311箱/列$$

- 陳列場に必要陳列の列数=4,825箱/日÷311箱/列=15.5列 → 16列

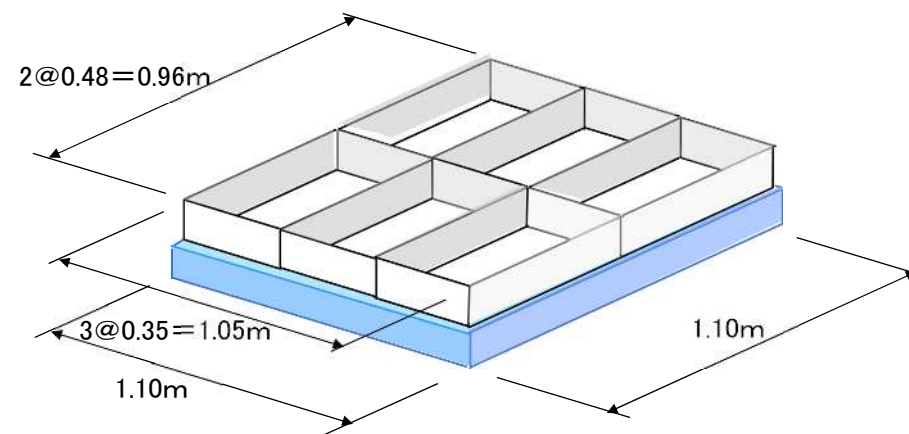


図2 発泡スチロール箱のパレット設置状況

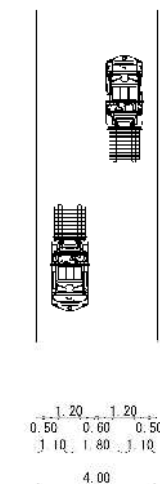


図3 フォーク通路図

(2) 規模縮小の条件

人が通行するのは下見と入札時であり、フォークリフトが通行するのは搬入・搬出時であり、使用する時間帯が異なるので、パレットとパレットの間のフォークリフトの通路が確保されていれば、パレットとパレットの間の人の通路は削除する。

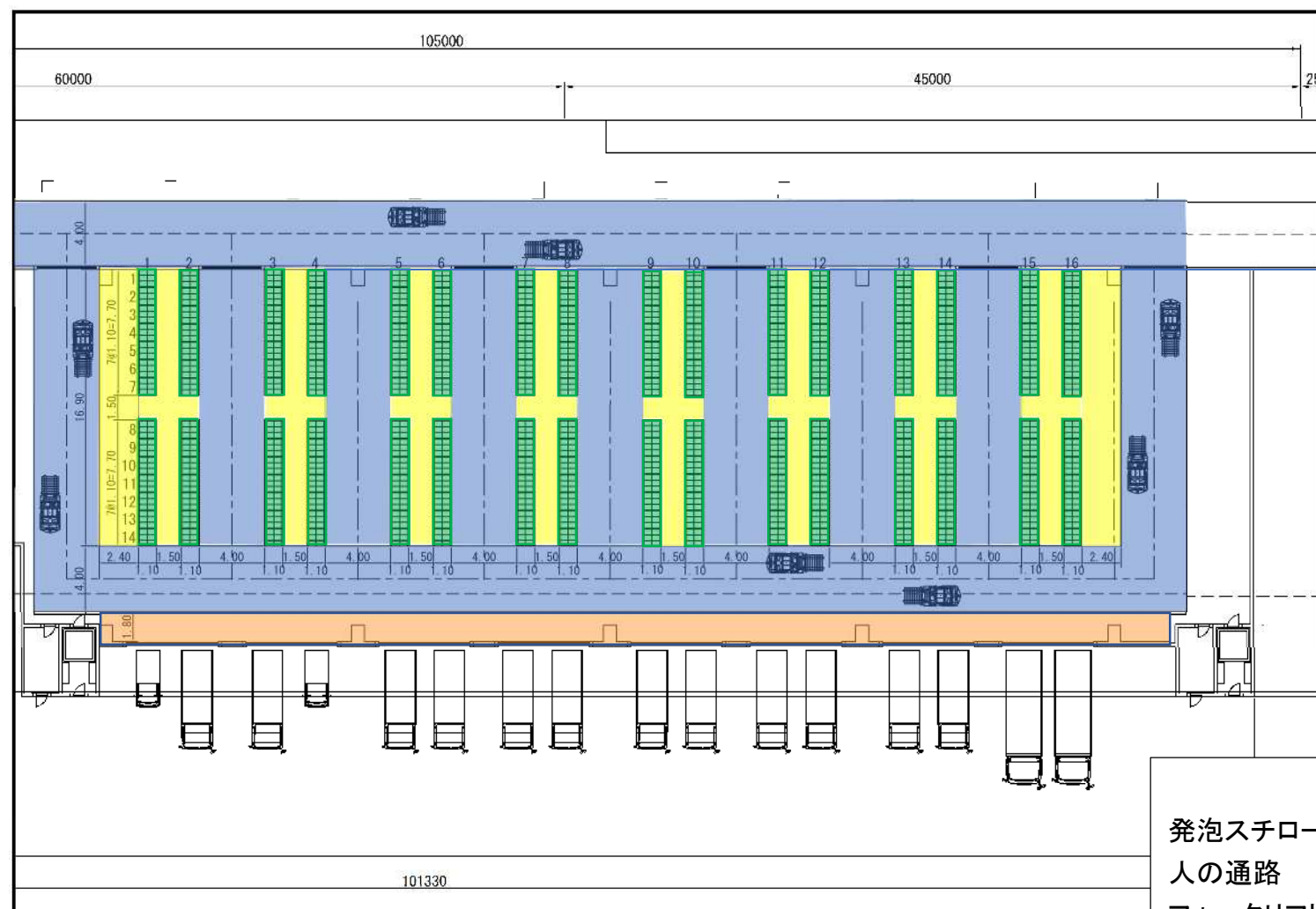


図1 陸送の荷さばき所の配置図

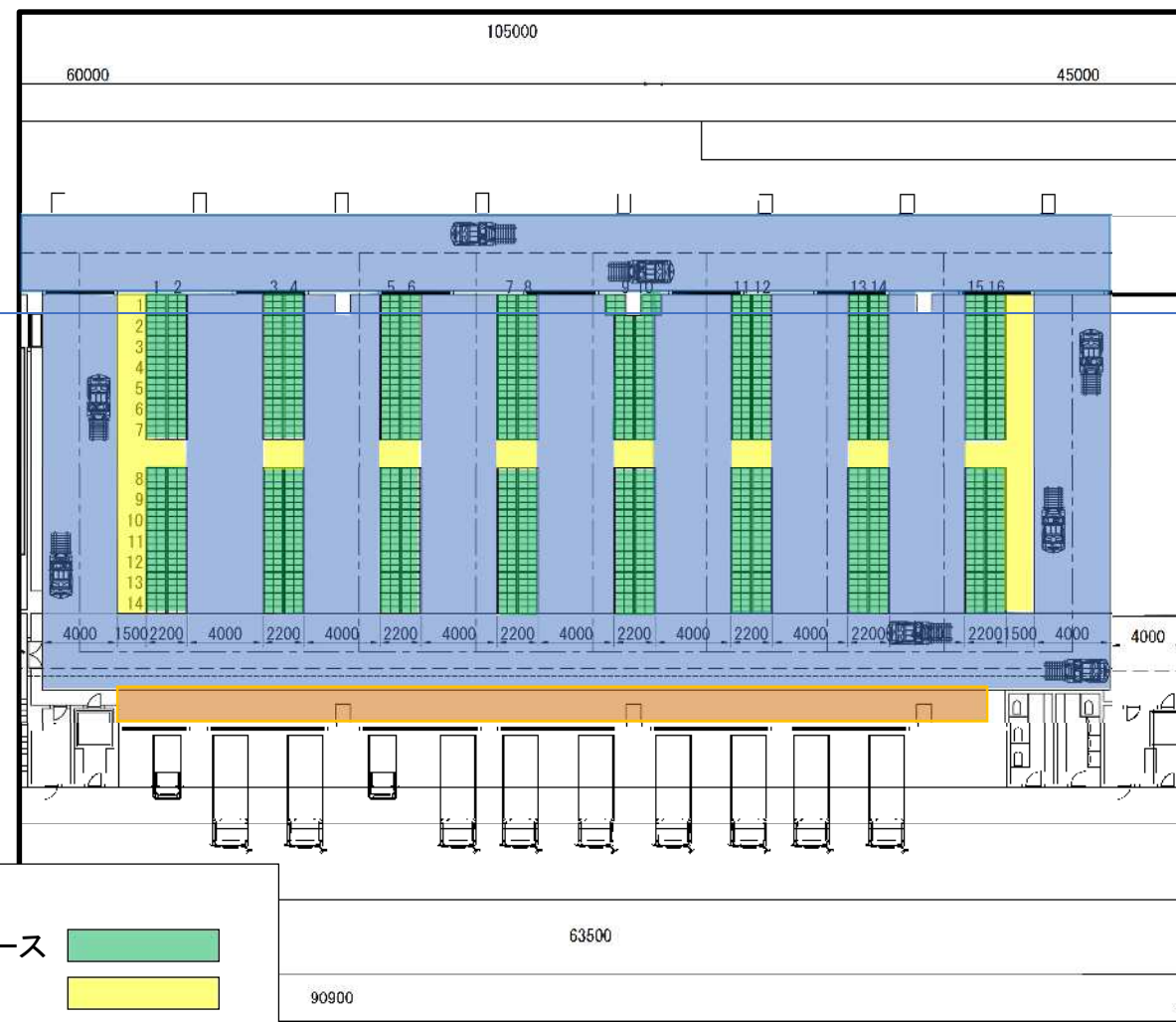


図4 陸送の荷さばき所の配置図

凡例

発泡スチロール箱陳列スペース	
人の通路	
フォークリフト通路	
搬出スペース	